

2022年7月13日

会 員 各 位

日本広報学会 第28回研究発表全国大会（いわき大会）開催のご案内

日 本 広 報 学 会
理 事 長 柴 山 慎 一
大会実行委員長 福迫 昌之

主 催：日本広報学会
開催校：東日本国際大学
協 力：経済広報センター、日本パブリックリレーションズ協会
公共コミュニケーション学会（協力名義依頼予定）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、第28回研究発表全国大会は、以下のご案内の通り、2022年10月15日（土）、16日（日）の日程で、東日本国際大学（福島県いわき市）にて開催いたします。会員の皆様におかれましては、広い視点から広報・コミュニケーションに関連する研究成果をご披露いただければと存じます。各分野の碩学の皆様、教育・研究機関に属する若手研究者の皆様、企業や自治体等に在籍する実務家・専門職の皆様、どうぞ奮ってご参加・ご発表ください。

1. 統一論題 信頼の創出とコミュニケーション —災害×地域×広報を手掛かりに—

<趣旨>

自然災害やコロナ禍そして戦争といった社会不安が増大するVUCA時代を迎え、情報やメディア、コミュニケーション環境の変化は加速度を増している。それとともに、さまざまなコミュニケーションが創り出す社会的信頼関係のあり様も問い直されようとしている。

そうした中、福島第一原発事故の被災地となった福島県浜通り地域は、東日本大震災発災から11年が経過した今も、誹謗中傷、風評被害そして社会的分断など、コミュニケーションそしてパブリックリレーションズに関わる様々な問題の最前線であり続けている。

戦後日本における行政広報は、市民の行政への暗黙の信頼を基盤に成り立ってきた。原子力政策に関わる広報はその典型であり、それは「安全神話」としていったん結実したとも言える。実際に起こった原発事故はそうした仮想の信頼関係の崩壊を示す出来事であった。

このような原子力広報の構図は、社会における信頼およびコミュニケーションの危機を象徴するものであり、被災地では現在においても、風評被害のまん延やリスク・コミュニケーションの不全といった形で地域復興の足枷となっている。

一方、広報学のもう一つの軸である企業広報においても、近年はSDGsやESGの普

及、浸透とともに企業の社会的責任が厳しく問われている。企業内の一部署である広報部門が担当し情報発信を行う「狭義の広報」の充実では不十分であり、「企業活動は社会との信頼関係の上でのみ成立する」という認識が広がってきた。いわば持続的な企業活動そのものが「広義の広報」であるという段階に達している。

また自治体広報においては、「域内への広報」が中心であった段階から、行政経営の観点からのシティセールスが盛んになるなど「域外への情報発信」の重要性が高まってきた。さらには地域住民の主体的な活動も、地域からの広報発信において重要な役割を占めるに至っている。

こうした状況全体を踏まえれば、特定の地域や政策あるいは業種に止まらず、現在が社会の転換期における広報の在り方を問い直す契機であるとともに、むしろ今こそ広報の真価の発揮が期待されているといえるであろう。

第28回大会では、福島第一原発から最直近に立地する東日本国際大学を開催校として、信頼およびコミュニケーションという広報概念の最重要要素に焦点を当て、広報の本質を見つめ直す。東日本大震災の被災地において危機を乗り越えようとする各セクターの戦略や、地域復興に取り組む人々の具体的な事例を通じて、VUCA時代に求められる広報の在り方と役割を考えたい。

2. 会期 2022年10月15日(土) 10:50~19:45

16日(日) 09:30~16:00

※大会前日の10月14日(金)に震災関連施設等の視察見学会(エクスカージョン)を実施します。

3. 会場 東日本国際大学

〒970-8023 福島県いわき市平鎌田字寿金沢37

([アクセス](#))

現地開催とオンライン会議システム Zoom を併用した「ハイブリッド形式」による開催

- 現地での参加を中心としつつ、遠隔での参加にも不自由のないよう
- に対応します。
(コロナ感染状況によっては完全オンライン開催も検討します)
- 会場では無料Wi-Fiをご利用いただけます。
- 問い合わせは大会事務局 (taikai28_iwaki@mail.jscs.jp) まで。

4. 全体スケジュール

10月14日(金)【事前視察見学会(エクスカージョン)】

11:00 過ぎ～18:00 ごろ

- 福島第一原子力発電所などの視察を行う予定(詳細調整中)。
- 当日は午前11時10分 JR 双葉駅着「特急ひたち」のダイヤに合わせて同駅前集合、午後6時頃に JR いわき駅前解散の予定です。

10月15日(土)【1日目】

10:50～11:00 開会式

11:00～12:00 統一論題基調講演

テーマ : 信頼とコミュニケーション～企業・被災地の現場から～(仮)

基調講演者: 井上 直美 氏

いわき観光まちづくりビューロー会長、

みずほ総研 元社長、常磐興産(スパリゾートハワイアンズ) 前社長

12:00～12:30 報告「東京電力における廃炉広報実践と信頼再構築への取組み」(仮)
東京電力ホールディングス

(12:30～14:00 昼食)

14:00～16:30 統一論題パネルディスカッション

テーマ: 地域社会における信頼の創出とコミュニケーション

パネリスト: 調整中

コーディネーター: 濱田逸郎(江戸川大学名誉教授/本学会副会長)

16:35～16:50 学会賞表彰式

17:15～19:45 懇親会(会場: キャンパス内) (別途会費を徴収します)

10月16日(日)【2日目】

09:30～11:45 自由論題口頭発表(午前の部)

(12:00～13:00 昼食)

13:15～15:30 自由論題口頭発表(午後の部)

15:45～16:00 閉会式・次回開催校挨拶

※詳細なプログラムは9月下旬を目処にみなさまにご連絡いたします。

5. 大会参加費・懇親会費・エクスカージョン参加費などの申込要領

研究発表全国大会、懇親会、事前視察見学会（エクスカージョン）への参加費は下表のとおりです。当日参加を除き、イベント参加券オンライン販売サービス「Peatix」を用いて徴収します。（当日参加者は現金でお支払いください）

Peatixの準備が整いましたら、改めて申込のご案内を差し上げます。しばらくお待ち願います。

研究発表全国大会	前納（10月7日まで）	当日	備考
正会員・非会員	5,000円	6,000円	現地参加、オンライン参加とも同額です
学生会員	2,500円	3,000円	

懇親会費	前納（10月7日まで）	当日	備考
正会員・非会員	5,000円	6,000円	現地参加のみです。
学生会員	2,500円	3,000円	

事前視察見学会 （エクスカージョン）	前納のみ （9月10日まで）	備考
参加料（正会員・学生会員） ※非会員は参加できません。	4,000円 （昼食代含む）	※原発構内に入構しますの で、セキュリティ対策上早め に参加者を確定させます。

6. 予稿集について

今大会の予稿集は完全オンライン化します。大会 HP に PDF 形式で掲載します。
個人会員で印刷版を必要とされる方は、1 冊 1,000 円で頒布します。（詳しくは追っ
てお伝えします）

7. 発表申込・予稿等提出の日程と手順

発表申込および予稿等の提出は大会ホームページに設けるフォームにて受け付けま
す。

(1) 口頭発表

申込期限	7月31日（日）23:30
審査結果のご連絡	申込期限後1週間程度
予稿提出期限	9月16日（金）23:30

(2) ポスター発表

申込期限	8月31日（水）23:30
審査結果のご連絡	申込期限後1週間程度
データ（PDF）提出期限	10月7日（金）23:30

※（1）口頭発表（2）ポスター発表ともに、申込受付後、実行委員会において内容を審査します。審査の視点は「広報学の研究発表としてふさわしいか」「研究としての課題（リサーチクエスチョン）と研究対象が明確であるか」といった諸点です。審査に基づき、発表をお断りあるいは内容修正を求める場合があります。審査結果は申込期限後1週間程度でお返しします。

※（2）ポスター発表用のポスターは、データで提出いただくとともに、各自出力のうえ会場に当日ご持参ください。

8. 実行委員会名簿

実行委員長 福迫昌之（東日本国際大学）
副委員長 濱田逸郎（学会副会長、江戸川大学名誉教授）
副委員長 築地達郎（龍谷大学）
委員 河井孝仁（東海大学、学会研究委員長）
委員 北見幸一（東京都市大学、学会総務委員長）
委員 山田紀浩（東日本国際大学）
委員 小野寺孝晃（TATAKIAGE Japan、事業構想大学院大学）
委員 渡辺稔（わたなべ英数塾）
委員 大島昌子（日本広報学会事務局長）
アドバイザー 国枝智樹（上智大学）

以上